

# 北海道立図書館事業推進計画

(平成20年度～平成24年度)

平成20年3月

北海道立図書館

はじめに

北海道立図書館は、大正15年に行啓記念庁立図書館として札幌市北1条西5丁目に創設され、その後昭和42年に江別市に移転改築され現在に至っています。

札幌市の中心部から移転するに当たって、全国の図書館としては初めて市町村立図書館等を支援する図書館、いわゆる第二線図書館としての性格を明確に打ち出し、以来今日まで「図書館の図書館」、「何でもわかる図書館」、「道民みんなの図書館」を運営の基本方針として、図書館活動を推進してきました。

市町村立図書館等への貸出しやレファレンス業務のほか、図書館未設置市町村への支援事業等を行って参りましたが、市町村の図書館設置率は50%を超え、また、市町村立図書館等において年間2,500万冊以上の本が利用されている現在、市町村立図書館等のもとよりそれを支える道立図書館の役割もますます大きくなっていると言えます。

また、国際化や情報化、少子・高齢化など社会の変化に伴い、道民のニーズが多様化、高度化するなど、図書館を取り巻く環境も大きく変化していく中で、道立図書館においても平成9年度に図書館情報システムの運用開始、平成11年度に道民への直接貸出しの開始、また、平成17年度にはインターネット予約貸出しの試行をスタートさせるなど、新たなサービスの拡大に努めて参りましたが、最近では医療・健康・福祉情報サービスの提供や行政サポートサービスなど、課題解決型図書館としての機能の充実にも取り組んでおります。

このような状況にあって、道立図書館では、国や市町村の動向を踏まえながら、現在実施している事業の現状分析と利用者ニーズの把握に基づく課題の整理を行い、この度、平成20年度以降概ね5年間の道立図書館の進むべき方向を推進方針として示すとともに、それを実現するため、年度ごとの具体的な取り組みを行動計画としてとりまとめた「北海道立図書館事業推進計画」を策定いたしました。

この計画の推進に当たっては、北海道教育委員会が平成20年度以降の概ね10年間を計画期間として策定した「北海道教育推進計画（新しい教育計画）」で示されている施策の方向性なども踏まえながら、社会状況の変化などに対応した必要な点検・見直しを行い、毎年度策定する「北海道立図書館運営計画」にも反映するよう努めて参ります。

この計画を着実に実行することで、本道の図書館が真に地域の情報の拠点として道民から親しまれ、信頼される図書館となるなど、図書館サービスの一層の向上に繋がるものと期待しております。

平成20年3月

北海道立図書館長 上林 猛

# 目 次

( 10区分40項目 )

## I 北海道立図書館事業推進計画

### 01 一般・北方資料の収集・整理・保存 (5項目) . . . . . 1

- 01 必要な資料の確保
- 02 資料整理の効率化
- 03 資料の保存
- 04 デジタルライブラリーの検討
- 05 資料の媒体変換

### 02 利用者サービスの充実 (5項目) . . . . . 2

- 06 展示コーナーの充実
- 07 カウンター業務の一元化
- 08 広報活動等の推進
- 09 各種講座の実施
- 10 ボランティアとの協働について

### 03 レファレンスサービスの充実 (5項目) . . . . . 3

- 11 有料データベースの利用拡大
- 12 ほっかいどう地域の課題解決サポート事業の推進
- 13 文献・書誌目録の作成
- 14 レファレンス研修
- 15 レファレンス広報誌の発行

### 04 市町村・学校支援と地域連携 (6項目) . . . . . 5

- 16 市町村支援活動事業
- 17 市町村支援活動の調査・広報
- 18 資料の利用及び貸出
- 19 市町村支援活動用資料の有効活用
- 20 地域(江別市)との連携
- 21 効率的な搬送方法の情報収集・提供

### 05 子ども読書活動の推進 (2項目) . . . . . 7

- 22 児童サービスの充実
- 23 子ども読書活動の支援

### 06 各種研修・講座等の充実 (1項目) . . . . . 7

- 24 図書館研修

### 07 関係団体・機関との連携 (2項目) . . . . . 8

- 25 関係団体等との連携
- 26 読書普及関係機関・団体等との連絡提携

### 08 施設・設備の改善・活用 (3項目) . . . . . 9

- 27 施設・設備の補修等
- 28 遊休地、遊休施設の活用
- 29 書架の増設による収納スペースの確保

### 09 管理運営と組織機構 (10項目) . . . . . 10

- 30 祝日開館及び開館時間の延長
- 31 年末年始の休館日の開館
- 32 包括的な業務委託の実施
- 33 業務委託の拡大
- 34 警備業務の機械警備
- 35 委託業務の近隣施設との統合
- 36 組織・機構の見直し
- 37 民間委託の拡大に伴う組織機構の見直し
- 38 喫茶・軽食コーナーの設置
- 39 図書館情報システムについて

### 10 その他 (1項目) . . . . . 12

- 40 これからの図書館の在り方検討委員会

## II 北海道立図書館事業行動計画 . . . . . 行1～行8

# 北海道立図書館事業推進計画

(平成20年度～平成24年度)

北海道立図書館

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
01 一般・ 北方資料の 収集・ 整理・ 保存	01必要な資料の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料整備は全国都道府県最低レベルの状況が続いており、市町村立図書館等及び道民の要求に十分応えられない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">H19年度40426千円(順位39位、一人当たりの資料費は7,2円で最下位) 全国県立の平均は66000千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道立図書館の収集方針、収集計画に基づき、具体的整備冊数の明確化を図る。</li> <li>一般資料～参考図書、図書館学図書、調査研究図書、一般図書、児童書</li> <li>北方資料</li> <li>支援活動用資料</li> <li>逐次刊行物、視聴覚資料</li> </ul>
	02資料整理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄贈図書 雑誌の未整理分が恒常的に存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理業務の効率化を図り、データ作成準備作業(重複調査等)の委託化の検討</li> <li>ボランティア活用</li> </ul>
	03資料の保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>手書き・青焼き・木版刷りなどの特殊な資料があり、今後これら資料の劣化が予想される。</li> <li>破損資料の修理は現在職員が行っている(十分な技能・経験を有した職員でなければ行うことが出来ない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な保存対策の検討</li> <li>資料の修理技術をもった職員が少ないので、今後館内研修等で修理技術の取得を目指す。</li> <li>図書修理ボランティアの活用</li> </ul>
	04デジタルライブラリーの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出が出来ない貴重な資料の活用についてデジタル化が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルデータのWeb上での公開を通して資料の活用を図る。</li> </ul>
	05資料の媒体変換	<ul style="list-style-type: none"> <li>古い視聴覚資料を保存や利用する上で、新しい媒体に複製する必要が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声テープ(道教委作成)のCD化 総数477点の内、H18年度で180点をCD化済み</li> <li>他の視聴覚資料(映画フィルムなど)</li> </ul>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
02 利用者サービスの充実	06展示コーナーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの課で2～3月に一度展示換えを行っている。H18年度実施～49回展示（一般39回、北方10回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間の計画的展示（トピック的展示は別途随時開催）</li> <li>・ 過去の展示内容を写真付きでホームページに掲載。</li> <li>・ 当館が主催する事業とも連携した展示を企画・実施し、所蔵資料のPRや利用の拡大に努める。</li> </ul>
	07カウンター業務の一元化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、一般資料と北方資料の貸出、返却、書庫出納、レファレンス窓口を別々に設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンター業務の一元化については現施設の配置上の問題から難しいが、利用者サービス向上のための方策については引き続き検討する。</li> </ul>
	08広報活動等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページを主として図書館活動を搭載し広報している。また、各課で工夫をしながら、その都度チラシなどを作成し広報活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの内容の充実を図り、より効果的な情報発信の検討を行うことを目的に各課の意見を効果的に集約出来るよう館内ワーキングチームを立ち上げる。</li> </ul>
	09各種講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携講座 年10回</li> <li>・ 医療大学連携 年2回</li> <li>・ インターネット資料検索講座 随時</li> <li>・ 書庫ツアー 年3回等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者向けの講座として、道民カレッジ連携講座、北海道医療大学との連携講座をはじめ、インターネット資料検索講座や書庫ツアーなどを開催実施し、学習機会の提供に努める。</li> </ul>
	10ボランティアとの協働について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成16年度からボランティア募集をし、毎年50名前後の登録がある。</li> <li>・ 主な活動内容は一般資料の返却・配架や北方資料のリスト作成などに従事しているが他の業務にも従事したい希望が寄せられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館活動に興味を持ち、活動を通じて自己実現を目指す人々の活動の機会を提供する。</li> <li>・ ボランティアとの協働による図書館活動のより一層の充実を図っていくため、ボランティア活動内容の拡大や今後の図書館とボランティアとの協働のあり方や仕組みについて検討する。</li> </ul>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
03 レファレンスサービスの充実	11有料データベースの利用拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットの普及のより、一定程度の事実調査を終えた、より複雑な問い合わせが多くなってきている。専門化、高度化する問い合わせに応えるため、有料データベースの利用が有効であるが、現在利用しているデータベースは次の2種類。 日経テレコン 官報情報サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 迅速的確な回答のため、有料データベースの導入拡大を図る &lt; 検討事項 &gt; 必要なデータベース      優先順位      料金等</li> </ul>
	12ほっかいどう地域の課題解決サポート事業の推進  道政サポートサービス  医療・健康・福祉サービス ビジネス支援サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館が地域の情報拠点として、所蔵資料やネット情報を利用しやすく加工して情報発信することが求められてきている。事業を通じて道民の生活向上や地域の活性化に寄与する事を目指す。</li> <li>・ 図書館の機能や利用方法の周知や不便さから利用件数的には多いとは言えない。</li> <li>・ 情報探索ガイド、リンク集、資料展示、貸出等が個別に実施されており、各課横断的な取組としては不十分 北海道医療大学との連携講座を2回実施。情報探索ガイドやリンク集の作成済み。 起業関係パンフの提供、新刊からビジネスコーナーに展示し貸出し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報内容の検討～的確なニーズの把握方法の検討・効果的な事業の在り方検討・道庁内に貸出や返却の窓口となるサテライトの設置の検討。</li> <li>・ ワーキングチームを組織化、情報探索ガイド、リンク集、展示、収集、貸出等がリンクした事業となるよう年間計画を策定するなど全体像を描く。</li> </ul>
	13文献・書誌目録の作成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「北海道雑誌新聞総合目録」のホームページ上での更新を行う。</li> <li>・ 北方資料の書誌目録「北の資料」の作成</li> <li>・ その他、当館所蔵資料を効率的に調査することが出来る目録類を作成し、情報発信を行う。</li> </ul>

## 北 海 道 立 図 書 館 事 業 推 進 計 画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
03 レ ファ レン ス サ ー ビ ス の 充 実	14レファレンス研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村職員向け「市町村図書館職員レファレンス体験研修」の実施</li> <li>・ 一般利用者向け「インターネット資料検索講座」の実施及び道民カレッジ連携講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村立図書館等におけるレファレンスの普及と職員のスキルアップに努める。</li> <li>・ 図書館利用の促進となる講座を実施する。</li> </ul>
	15レファレンス広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村職員向け「レファレンス通信 Do- Re」の発行</li> <li>・ 一般利用者向け「Do- Rem in」の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村立図書館等及び道民にとって判りやすく役立つ「情報誌」の発信に努める。</li> <li>・ ホームページにも掲載し、情報発信に努める。</li> </ul>



## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
04 市町村・学校支援と地域連携	16市町村支援活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H18年度に移動図書館事業から市町村支援事業にリニューアル。</li> <li>・ H19年度予定62市町村、98事業～図書館未設置市町村に加え、図書館活動の活性化・高度化を図る市町村立図書館、学校連携やボランティア支援など、従来の市町村の図書館活動の枠を越えたケースの支援が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用希望のあった事業を計画的に進めるほか、夕張市の図書館活動支援を効果的に実施する。</li> </ul>
	17市町村支援活動の調査・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村支援事業の支援誌「あけぼのつうしん」を年4回発行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あけぼのつうしん」を中心により多様な情報収集及び提供に努める。</li> </ul>
	18資料の利用及び貸出	<p>&lt;市町村支援活動用資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動図書館貸出に代わる「大量一括貸出」の利用は減っているものの、事業支援である「一日図書館フェスティバル」や「学校読書活動支援」は増となっている。H18年度貸出冊数44181冊</li> <li>・ 冬期間の利用については低調であり、通年の利用が課題となっている。</li> </ul> <p>&lt;協力貸出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H18年度協力貸出未利用市町村数～28町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村支援活動事業の事業内容の周知・検証による利用件数の増を図る。</li> <li>・ 読書活動の重要性、資料提供の方法等をPRし、未利用市町村に働きかけを強化する。</li> </ul>
	19市町村支援活動用資料の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経年変化(購入後10年経過)により利用に適さなくなった資料が39%を占めており、これらの資料の有効活用が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立図書館で一般資料などとして活用するほか、他の有効活用の方策について検討する。</li> <li>・ 併せて書庫の活用を図る。</li> </ul>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
04 市町村・ 学校支援と 地域連携	20地域(江別市)との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江別市教委等と連携し、地域に貢献するとともに、その地域連携の結果を踏まえ、道内市町村との連携策を構築することが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江別市教委、江別市情報図書館及び当館の3者で協議を行い、内容を検討する。また、近隣学校との連携協力を進める。</li> </ul>
	21効率的な搬送方法の情報収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立～市町村、市町村～市町村において個別に貸出資料の搬送を行っている。財政状況から搬送費確保の困難性や効果的な資料搬送の検討の声が挙がっている。平成18年度送料に関するアンケートを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立～市町村、市町村間の効率的な搬送方法について関係団体などへ情報提供を行う</li> </ul> <p style="text-align: center;">他府県の状況調査を行う</p>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事項	現状・課題	推進方針
05 子ども読書活動の推進	22児童サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童コーナーはH11年度に設置されたが、施設スペースや環境面から、利用しやすい雰囲気ではない。H18年度の利用は7300冊(全体の約9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示の内容や頻度の検討の他、配架方法や照明等明るく利用しやすい環境整備を図る。</li> <li>・ 児童コーナーの利用の拡大について検討を進める。</li> </ul>
	23子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもの読書活動」の推進に重要な役割を果たす市町村立図書館や図書室等に対し、市町村支援事業を行っている。</li> <li>・ 道教委においてH19年度文科省委託事業「子ども読書応援プロジェクト」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村支援事業(学校読書活動支援、学校読書活動にかかる運営相談、学校支援を実施する市町村への大量一括貸出)の実施により効果的な支援を行う。</li> <li>・ 市町村支援事業の実施と連携して「子ども読書応援プロジェクト」事業について協力していく。</li> </ul>

区分	事項	現状・課題	推進方針
06 各種研修・講座等の充実	24図書館研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立図書館事業では新任実務研修(個人研修)を実施している。また、北海道図書館振興協議会と共催で新任職員研修会、中堅職員研修会、レファレンス研修会を実施している。</li> <li>・ 参加市町村での旅費等の財源確保が難しく市町村立図書館職員の参加者の減少傾向が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立図書館が実施する新任実務研修はそれぞれの図書館の要望や実情に合わせたカリキュラムによる実務研修内容とし、随時実施する。</li> <li>・ 図書館研修(中堅研修とレファレンス研修の隔年開催の一本化など)について検討する。</li> </ul>

## 北 海 道 立 図 書 館 事 業 推 進 計 画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
07 関係 団体・ 機関 との 連携	25関係団体等との連携  公共図書館～北海道図書館 振興協議会 他館種図書館～北海道図書 館連絡会議（公共、大 学、私短大、専門、学校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内の公共図書館をはじめ、大学、私短大、専門、学校の各団体とも連携して図書館活動の推進に努めているが、公共関係では財政的理由から研修会などの参会者の減少、また、その他の関係団体でも活動の縮小や会員が減少している状況がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道立図書館は図書館の図書館として、図書館振興、サービス充実のため、引き続き団体と連携して図書館活動を進める。 北図振～ニーズに即した研修事業等の企画検討 連絡会議～組織の活性化と連携の強化に努める。</li> </ul>
	26読書普及関係機関・団体等 との連絡提携  北海道読書推進運動協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書普及に推進する社団法人読書推進運動協議会の都道府県連絡組織で道立図書館に事務局が置かれ、読書普及に関する活動を行っている。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">活動状況 優良読書グループ北海道表彰 北読進協だよりの発行 加盟団体の脱退、統廃合により会員数が減少傾向にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書普及を図り、生涯学習の推進の視点からも引き続き連携を進める。</li> <li>・ 運営の基盤や運営方法や活性化について他の都道府県の活動状況を調査し、今後の検討を行う。</li> <li>・ 賛助会員の募集など、会員増について検討する。</li> </ul>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
08 施設・設備の改善・活用	27施設 設備の補修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設建築後40年経過し、建物・設備が老朽化している。 電動式書架の修理</li> <li>閲覧室等の床材張り替え エレベーターの改修（H19年度改修実施） 外壁等の防水工事</li> <li>電話交換機の更新</li> <li>&lt; 備品の更新・設置 &gt; 事業用連絡車の不備 AEDの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電動式書架については当面、資料を他の書架に移動すると共に修理にかかる予算要求をする。</li> <li>・ 床材張り替えの予算要求をする。</li> <li>・ 外壁は耐震診断を助案し対応する</li> <li>・ 電話交換機は耐用年数超過（リース契約）</li> <li>・ 事業用連絡車の配置</li> <li>・ 利用者サービスの充実</li> </ul>
	28遊休地、遊休施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地管理の非効率及び施設各部屋の未利用など 芝、立木竹の維持費 未利用地 各部屋の未利用</li> <li>ロビーの効果的活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地の有効活用方策の検討</li> <li>・ 各部屋の点検と活用方策検討（展示効果、空き室の利用）</li> <li>・ 研修室の有効活用について検討する。</li> <li>・ エントランスホールには道立図書館の活動（市町村支援等）を紹介したPRパネルを設置。</li> </ul>
	29書架の増設による収納スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H18年3月に書庫内の壁書庫を増設（10万冊の収納確保）したが、H21年度末にはほぼ飽和状態となることが予想され、増加する資料の配架するスペースが確保出来ない状況となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書庫内スペースの確保～マイクロ化済みの新聞の廃棄</li> <li>・ 遊休施設内のスペース確保～地下マイクロ撮影室に書架を設置</li> </ul>

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
09 管理運営と組織機構	30祝日開館及び開館時間の延長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の半数体制で元旦を除く祝日14日及び振替休日3日間の開館実施</li> <li>・ 5月から8月までの毎週水曜日及び木曜日を2時間(午後7時まで)延長している。利用者及び貸出冊数も少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の半数勤務体制を検証して、本格実施に向けた規則改正の取組を行う。</li> <li>・ 開館の効果について検討。</li> </ul>
	31年末年始休館日の開館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末及び年始の開館日数の増を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年度より試行で開館を実施。</li> </ul>
	32包括的な業務委託の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H19年度から実施</li> </ul>	
	33業務委託の拡大 資料の梱包・発送 資料の装備、新聞の製本 支援用貸出資料の返却・配架	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料等の発送業務の委託化を図る。H19年度から実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的業務委託について引き続き検討。</li> </ul>
	34警備業務の機械警備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎警備の無人化の実施</li> </ul>	
	35委託業務の近隣施設との統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各業務の実施状況の相違などから除雪業務以外の統合可能な業務が選定できない。また、予算要求課・支出科目の違いなどがあり、図書館の意向だけでは進められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託業務実施状況から統合可能な業務及び予算削減効果について更に検討を進め、統合の可能性を探る。</li> </ul>
	36組織・機構の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道教委が作成する職員適正化計画に沿った組織機構の見直し H19年度実施済み 配置定数 40名→39名</li> </ul>	

## 北海道立図書館事業推進計画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
09 管理運営と組織機構	37民間委託の拡大に伴う組織・機構の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間委託可能な業務を選定し、委託化を進めているが、現状では配置定数削減となる人工になっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間への図書館業務の委託化に伴う組織・機構の見直しについては引き続き平成22年度までに配置定数2名減を検討する。</li> </ul>
	38喫茶 軽食コーナーの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からの要望事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者の増に伴い、現状でどのような対応策があるのか調査、検討を行う。</li> </ul>
	39図書館情報システムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館情報システムの活用～蔵書管理の効率化・迅速化及び資料検索、貸出、予約、リクエストなどの情報提供機能の向上のため情報システムを活用している。            導入 平成 8年～プロポーザル            更新 平成 12年、平成 17年            次期 平成 22年</li> <li>現機器～クライアントサーバ形態（パッケージカスタマイズ型）</li> <li>現システム運用の充実～現システムがもつ機能（横断検索、ILパッケージ）の活用</li> <li>更新への準備～次期システム導入（更新）に向け、実務的な検討を行うため、館内にワーキングチームを設置。</li> <li>運営の基本方針～全域サービスの図書館（一市民みんなの図書館）として、図書館未設置地域への支援、図書館情報システムの整備等により、いつでも、だれでも、どこからでも求められた資料や情報に対応出来る図書館サービスを展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現システム運用の充実～資料検索、貸出、予約サービスの充実のため、横断検索とIL参加館の拡大に努める。次期システムでは、より横断検索、ILが運用しやすいものを目指す。</li> </ul> <p>&lt;次期システムの検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次期システムは安定性、信頼性、セキュリティ、効率性、経済性など総合的に判断し、図書館サービスの向上につながるものとする。</li> <li>検討に当たっては、ワーキングチームでの議論を重ね、業者に提示出来る仕様書を作成する。（複数メーカーからの情報、提案を得ながらまとめる。）</li> </ul>

## 北 海 道 立 図 書 館 事 業 推 進 計 画

区分	事 項	現 状 ・ 課 題	推 進 方 針
10 そ の 他	40 これからの図書館の在り方 検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急激な社会情勢の変化に伴い、多様化、高度化する道民ニーズに対応する図書館サービスが望まれることから、今後の道立図書館の在り方について検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年3月、文部科学省が「これからの図書館の在り方検討協力者会議」の報告として公表した「これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～」を踏まえ、道民にとって役立つ道立図書館の在り方について検討する組織を館内に設置し、検討をすすめる。</li> </ul>



# 北海道立図書館事業行動計画

(平成20年度～平成24年度)

北海道立図書館

# 北海道立図書館事業行動計画

	平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
区分項目	<b>01 一般・北方資料の収集・整理・保存</b>						
	01 必要な資料の確保	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     具体的整備冊数の目標の検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     具体的整備冊数の目標策定                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①収集計画の策定(H22～24年度) ②予算要求                 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     収集計画の策定(H25～27年度)                 </div>
	02 資料整理の効率化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     未整理資料冊数、資料内容の把握                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①整理業務の流れの見直し ②専門的業務と軽易な業務の仕訳 ③効率的な整理業務の検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①委託化、ボランティア活用の検討 ②予算化に向けた検討                 </div>			
	03 資料の保存 03-01手書き・青焼き・木版刷資料等特殊資料の保存	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     劣化資料の検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     劣化状態サンプリング抽出調査・劣化傾向の分析及び保存対策の検討(手書き資料)                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     劣化状態サンプリング抽出調査・劣化傾向の分析及び保存対策の検討(その他資料)                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     保存対策の予算化に向けた検討                 </div>		
	03-02破損資料の修理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①職場内研修の方法の検討及び実施 ②修理ボランティアの検討・公募・実施                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     継続実施                 </div>				
04 デジタルライブラリーの検討	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     デジタル化対象資料の調査                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①デジタル化対象資料の検討 ②ホームページ設計検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①ホームページ設計 ②コンテンツ作成 ③ホームページ上での公開                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     随時コンテンツ追加                 </div>			
05 資料の媒体変換	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     音声テープ(道教委作成)のCD化実施                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①CD化継続実施 ②その他の音声テープ等資料の適切なデジタル化の検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     継続実施                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ①CD化(道教委作成)終了 ②その他の音声テープCD化の検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     その他の音声テープのCD化実施                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     継続実施                 </div>	

## 北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分項目	02 利用者サービスの充実						
	06 展示コーナーの充実	①年間計画の策定 ②年間50回程度の展示 ③ホームページ等でのPR	①資料展示の開催 ②翌年度の年間計画策定	継続実施			
	07 カウンター業務の一元化	現有施設でのカウンター業務の一元化の検討	サービス向上のための方策について継続検討				
	08 広報活動等の推進	ワーキングチームの立ち上げ	効果的な広報活動の検討・実施	効果を検証しながら広報活動の推進	継続実施		
	09 各種講座の実施	①道民カレッジ連携講座 ②医療大学連携講座 ③インターネット資料検索講座 ④書庫ツアー	内容の充実を図るとともに、新規ニーズにも対応した検討を加えながら継続実施				
	10 ボランティアとの協働について	ボランティア(登録者50名)は、一般資料の返却・配架、北方資料のリスト作成等の活動を行っている。	ボランティアとの協働の在り方、仕組の検討	検討・実施			

北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分 項目	<b>03 レファレンスサービスの充実</b>						
	11 有料データベースの利用拡大	迅速的確なレファレンス回答のために必要な有料データベースの検討	必要なデータベースの導入・利用	継続利用	①利用者ニーズ、社会情勢の変化に対応した新たなデータベース導入の検討 ②予算化に向けた検討		
	12 ほっかいどう地域の課題解決サポート事業の推進 ①道政サポート ②医療・健康・福祉 ③ビジネス支援	①ワーキングチームの立ち上げ ②広報内容、道庁内サテライト、年間計画の策定等検討	①利用促進のための広報活動の実施 ②事業に即した講座、展示、文献目録等作成の企画・実施 ③サテライトの可能性の継続検討	内容等の充実を図りながら継続実施			
	13 文献・書誌目録の作成	①「北海道雑誌新聞総合目録」のHP上での維持更新 ②書誌目録「北の資料」の作成	継続実施及び所蔵資料の効率的利用が可能となる目録類の検討・作成	継続実施			
	14 レファレンス研修	①市町村図書館職員レファレンス体験研修の実施 ②インターネット資料検索講座、道民カレッジ連携講座等の実施	内容の充実を図るとともに、新規ニーズにも対応した検討を加えながら継続実施				
15 レファレンス広報誌の発行	①市町村職員向け『レファレンス通信 Do-Re』の発行 ②利用者向け『Do-Remini』の発行	内容の充実を図るとともに、新規ニーズにも対応した検討を加えながら継続実施					

## 北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分 項目	<b>04 市町村・学校支援と地域連携</b>						
	16 市町村支援活動事業	今後の事業実施について市町村アンケート実施	アンケート結果に基づき事業の検証・見直し実施				
	17 市町村支援活動の調査・広報	①『あけぼのつうしん』の発行 ②「あけぼのつうしんからのピックアップ」をHPに掲載	市町村との双方向の情報交換可能な掲示板、ブログ、メルマガ等の検討	実施			
	18 資料の利用及び貸出し 18-01市町村支援活動用資料	市町村向け展示貸出資料のセット化、冬期間向け事業の企画・提案	内容等の充実を図りながら継続実施				
	18-02協力貸出し	協力貸出未利用市町村の分析	効果的な資料利用のPRの検討・実施	内容等の充実を図りながら継続実施			
	19 市町村支援活動用資料の有効活用	一般資料及び北方資料として有効活用	①館内での有効活用方策の検討 ②図書館未設置市町村や道民等への再利用の検討	実施			
20 地域(江別市)との連携	江別市教委、江別市情報図書館と3者協議を実施し、地域連携について検討	協議・実施	3者での協議を行いながら、継続実施				

## 北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	21 効率的な搬送方法の情報収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門業者、市町村図書館職員との効率的な搬送方法の検討・協議</li> <li>②全国的状况の把握</li> </ul>	→	→			
			→	→			

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分項目	05 子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童コーナーの書架増設</li> <li>②児童コーナーの利用拡大についての検討</li> </ul>	→	→	→		
	22 児童サービスの充実		→	→	→		
	23 子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HP上に「子どもの読書活動推進」のコンテンツ開設</li> <li>②「子ども読書応援プロジェクト」事業及びコーディネーター設置等への協力</li> </ul>	→	→	→		
			→	→	→		

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分項目	06 各種研修・講座等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新任実務研修の実施、PR</li> <li>②北函振との共催事業の新任研、中堅研、レファレンス研修会の実施(中堅研、レファ研は交互に隔年開催)</li> </ul>	→	→	→		
	24 図書館研修		→	→	→		
			→	→	→		

## 北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分 項目	<b>07 関係団体・機関との連携</b>						
	25 関係団体等との連携 ①北海道図書館振興協議会 ②北海道図書館連絡会議	①北海道図書館振興協議会活性化のためのアンケートを実施 ②北海道図書館連絡会議組織見直しのための規約改正の実施	①アンケート結果を踏まえた図書館活動の推進と事業等の企画・実施 ②組織の活性化と図書館相互の連携の強化				
	26 読書普及関係機関・団体等との連絡提携 ①北海道読書推進運動協議会	①連携協力し、読書推進活動の活性化を図る ②組織及び運営方法について都道府県調査を実施	①都道府県調査結果の分析、今後のあり方について検討 ②賛助会員の募集について検討	検討・実施			

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分 項目	<b>08 施設・設備の改善・活用</b>						
	27 施設・設備の補修等	エレベータの改修実施	予算化に向けた検討 ①電動式書架修理 ②閲覧室床材張替え ③外壁等防水				
	28 遊休地、遊休施設の活用	①土地及び館内施設の遊休状況の点検及び活用の検討 ②エントランスホールでの道立図書館活動紹介のパネル展示 ③研修室活用方策検討	①遊休地の有効活用について検討 ②施設の有効活用の検討・実施	継続検討			
	29 書架の増設による収納スペースの確保	平成18年3月に書庫内壁書架増設(10万冊)	①書庫内スペースの確保(マイクロ化済み新聞の廃棄等) ②書庫設置場所調査・検討 ③予算化に向けた検討				

北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分 項目	<b>09 管理運営と組織機構</b>						
	30 祝日開館及び開館時間の延長	平成20年度実施に向けて管理規則の改正	①祝日開館実施 ②開館時間延長の見直し検討 ③利用者サービス充実の検討	実施			
	31 年末年始休館日の開館	平成20年度実施に向けて管理規則の改正	実施				
	32 包括的な業務委託の実施 33 業務委託の拡大	①清掃、ボイラー、発送返却処理業務の包括委託実施 ②実施済み委託業務の検証及び他県の状況やサービスの維持の観点から継続検討	効果的な委託化に努めながら継続実施及び継続検討				
	34 警備業務機械警備	庁舎警備の無人化実施					
	35 委託業務の近隣施設との統合	統合の可能性の検討	継続検討 ①統合可能な業務の検討 ②予算面からの検討				
	36 組織・機構の見直し	道教委作成の職員適正化計画に沿った組織・機構の見直し 40名→39名					



## 北海道立図書館事業行動計画

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
項目	37 民間委託の拡大に伴う組織・機構の見直し	業務の委託化に伴う組織・機構の見直し検討	継続検討 39名→37名					
	38 喫茶・軽食コーナーの設置	道立学校、近隣施設等の設置状況等調査	対応策の具体化	実施	→			
	39 図書館情報システム	①現システムの運用の充実(横断検索、ILL参加館の拡大) ②次期システム導入(H21度)のためのワーキングチーム設置、検討	①現システムの運用の充実については継続実施 ②調査検討を行い、予算要求及びシステム仕様書作成・提示	機器更新	運用	→		

		平成19年度(現在)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
区分	10 その他						
項目	40 これからの図書館の在り方検討委員会		これからの図書館の在り方検討委員会の設置及び在り方検討	→			